

# Hospital News・第1号



## 摂津医誠会病院・基本方針

当院は、最新の医療を取り入れながら、いつでも迅速にベストの医療を提供できる病院を目指し、専門性と総合性を持った医療体制を推進して行きます。

- 一．患者様の権利を尊重し、患者様の立場に立った医療サービスを提供します。
- 二．地域の皆様のニーズに即した医療を展開します。
- 三．医療と介護の連携を強め、患者様に質の高い日常生活を支援します。
- 四．地域社会での保健・公衆衛生の向上に努めます。
- 五．医療人としての使命感と責任を持ち、知識と技術の向上に励みます



## 脳神経内科とは

脳神経内科部長 弓取 克弘

“寝たきり” 暗い言葉ですね。誰しも避けて通りたいことでしょう。この“寝たきり”になる原因で最も多いのが脳の病気なのです。それも、脳の血管が破裂する“脳出血”、脳の血管がつまる“脳梗塞”など脳の血管の病気です。これらの病気は高齢化が進んでいる現状でますます増え続けてきています。一方、昔は死に至る病であったこれらの病気が、医学の進歩で8割近くが生命を取り留めているのです。皆さん、お分かりになるでしょうか、これは“寝たきり”“半身不随などの不自由な生活”の人がどんどん増えて行くことにつながっていくのです。あなたは大丈夫ですか？ これらの病気で大切なこと、それは、“発病しないように日ごろから予防に気をくばること”です。しかし、不幸にも発病したとしましょう。その時大切なことは、“できるだけ早く治療を始めること”、“リハビリをできるだけ早く始めること”、そして“リハビリを充分に行うこと”などです。ところで、このような病気には手術が必要なのでしょうか？ 私は脳神経外科医として、第一線の救急病院で30年以上脳血管の病気に対応してきました。その経験で言えること、それは、手術が必要なのは2割にも満たないということです。これらの病気の多くは手術ではなく内科的な治療が必要なのです。手術が必要でない脳の病気の治療を行う科、これが脳神経内科なのです。当然のことですが、もし手術が必要な場合は、早急に手術のできる病院へ転院していただく体制は確立されています。

脳神経内科では、脳の血管の病気だけに対応しているわけではありません。これもできれば避けて通りたい認知症、脳神経内科ではこの認知症に対しても力を入れています。認知症に対しては、診断をつける、外来通院で薬の処方する、それだけで終始しているのが現状のようです。患者さんとの接触に十分時間をかけること、どう対応していいか途方に暮れている家族の相談に乗ることなど、診断がついた後の方が重要なのです。私たちはこのことを常に心がけています。

“頭が痛いけど脳にできものがあるのでは？” “めまいや立ちくらみがする、手足がしびれるけど脳梗塞の前触れでは？”などと心配されている方も少なくないと思います。不安から安心へ。これも私たちの仕事です。このような非常に身近なことにも脳神経内科は対応しています。もちろん不安が現実のものとなった場合でも十分に対応できます。皆さんは、“青い鳥”のお話をご存知でしょうか？ 青い鳥（幸福）を求めて遠い世界を旅して探しましたが見つけることができず、自分の家の中（身近な所）に青い鳥がいることに気がついた、というお話です。“自分たちが生活している身近な地域にある身近な病院”、“いざという時に対応してくれる身近な病院”と皆様に思っただき、それに応えること、言葉を変えると“地域に根ざした医療を行うこと”、これが私たちの病院が最も大切にしていることです。その一環として、実際に診療にあたるだけでなく、“出前講座”と称し自治会や老人会に出かけ、治療よりも予防ということを重点にお話をさせていただいております。

聞きなれない言葉、“脳神経内科”とは？ というお話でした。



# 看護部門のご紹介

副看護部長 上野ゆかり

摂津医誠会病院は平成21年で創立21周年を迎え昨年20周年記念を行いました。開院当時は35名でスタートした看護部ですが、平成21年12月1日現在で120名にまで増えました。



日々、外来患者様や入院患者様の看護に当たっています。

外来では内科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・脳外科・脳内科診療を行っています。私たちは摂津市人口約8万人の中核病院としての役割を意識し、地域の方々にご利用していただき易い施設を目指しております。



入院ベッド数は170床、一般病棟として内科病棟59床と整形外科・外科混合病棟57床があります。また、平成19年4月から回復期リハビリテーション病棟54床を開設し機能回復と社会復帰を目指しています。一般病棟では病気の診断やフォローアップのための検査が必要な患者様や、病気の治療や手術が必要な患者様など入院理由は様々です。摂津医誠会病院看護部では「感性豊かで愛情のこもった看護の提供」という理念を基にこれからもより良い看護サービスを充実してゆきたいと考えております。

## 新春・市民無料公開講座開催のお知らせ

日 時	平成22年1月20日(水)	14時から15時
場 所	摂津医誠会病院3階研修室	
テ ー マ	「寝たきり防止」	
講 師	摂津医誠会病院 脳内科部長 弓取 克弘	
定 員	50名	
申込方法	当日直接病院におこしください	
お問合せ	06-6319-0531	

# 栄養科だより

## 鏡開きってなんのためにするの？



最近では、真空パックの鏡餅のなかに、個包装された小餅が入った便利なタイプが、販売されていますが、本来鏡開きとは、正月に年神に供えた鏡餅を松の内が明ける頃に、割って食べ、一年の円満を願う行事です。

武家社会の風習が由来であるため、現在でも、「切腹」を連想させる刃物は用いず、鏡餅は、木槌で割ったり、手でちぎったりします。

## アルコールについて



「年末年始は、飲みすぎた…」そんな方もいらっしゃるのではないのでしょうか。飲酒するときは、適量を守るのはもちろん、ちょっとした工夫も必要です。

- ・ 食事…飲酒は、空腹時は避け、食事をしながら。アルコールの吸収が、おだやかになり、急激に酔いがまわるのを防ぎます。  
また、脂肪は肝臓で分解される為、とりすぎると肝臓に負担が。  
酒席での食事は、揚げ物はひかえめに、焼き物・酢の物など、バランスよく食べましょう。
- ・ 水分…アルコールが体内で分解される際、大量の水分が必要です。  
その為、水分を補給せずに、飲酒を続けると、体が脱水状態になり、アルコールの分解も進みにくくなります。  
酒席で・帰宅後に・翌朝起きてからも、お茶・水等の水分補給を心がけましょう。

\* 治療中、服薬中の方の飲酒については、主治医にご相談ください。

